

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく
奈良県紀の川圏域の取組方針

令和4年度 of 取組状況報告

奈良県紀の川圏域大規模氾濫に関する減災対策協議会

目 次

- 五條市の取組1……大淀町の取組2
- 東吉野村の取組3
- 奈良県の取組4
- 和歌山河川国道事務所の取組5
- 紀の川ダム統合管理事務所の取組6
- 近畿農政局の取組7
- 奈良地方気象台の取組9

五條市総合防災訓練の実施 五條市】

【令和4年度：

○3年ぶりに開催した総合防災訓練

子どもから大人まで、だれでも参加できる訓練を実施し、市民等への防災意識の啓発を図る。

国・自衛隊・消防・警察・防災関係機関の支援の下、訓練を実施し、連携強化と職員等の災害対応能力の向上を図る。

今年度は初めてとなる、災害対策本部(市役所庁舎)と現地対策本部(河川敷)の通信・映像伝送訓練を実施。

実施概要

【訓練想定】 H23年9月の紀伊半島大水害を教訓に豪雨による土砂災害・水害を想定

【参加機関】 五條市・国・県・自衛隊・消防・警察 等 計29機関

【訓練内容】

展示型訓練…訓練シナリオに基づく防災関係機関との連携による災害対応訓練
(偵察訓練、道路啓開訓練、土のう積訓練 等)

体験型訓練…住民参加型の「見学・体験」を通じて防災意識を促進させる訓練
(消火器使用訓練、応急手当訓練、煙体験 等)

感想等

デジタル技術を活用したリモートによる新たな訓練を実施し、現地の状況等、リアルタイムで情報伝達が行えた。

3年ぶりの開催となり、改めて防災関係機関との相互連携を図ることができ、職員からみても実践的な訓練となった。
市民への防災意識の向上、啓発を図ることができた。

実施状況

通信・映像伝送訓練



現地対策本部(河川敷)



災害対策本部(市役所 災害対策室)

展示型訓練



体験型訓練



水災害意識啓発の実施

コロナ禍ではあるが、令和4年度に1地区、約30名に土砂災害や洪水などの水害に対する防災関係出前講座を実施。

町職員が土砂災害警戒区域や新たに指定された土砂災害特別警戒区域の説明、洪水浸水想定区域の更新状況を説明し、災害発生時における町、地域、家庭や個人の対応方法などについて講演を行った。

【令和4年度：大淀町】

実施概要

【開催地区】

- ・大阿太グリーンポリス

【開催日】

- ・令和4年6月5日(日)

【内容】

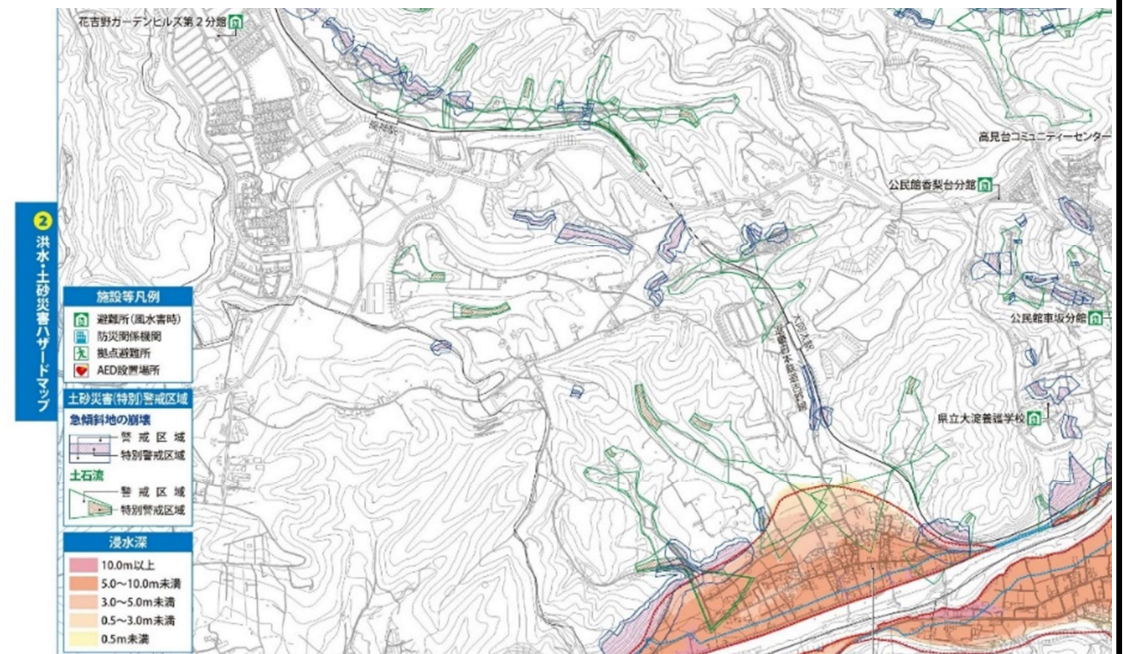
- ・災害(地震・風水害)の状況及び対処法など

感想等

- ・参加者は、こういったところに住んでいるのか、改めて確認できる良い機会となり、水災害の意識啓発になった。

【参考】出前講座資料抜粋

近くの**危険な場所**も確認しておきましょう。



○出動基準の必要性の再確認、基準整備

【令和4年度：東吉野村】

毎年8月当初に消防団の分団長を対象に村防災計画に記載している水防活動計画の出動基準や活動内容、村内道路の通行規制基準等と併せ自主防災組織である自治会との水防活動時の連携マニュアル等の確認及び周知を実施している。

実施概要

- **日時** 令和4年8月5日（金）
午後7時から
- **参加機関** 村消防団 団長、副団長、分団長
- **実施概要** 配布資料の説明

感想等

水防活動の現場で指揮を執る分団長の出動基準や活動内容を理解しておき迅速な対応を行えること及び自治会との連携を行うことでよりスムーズな水防活動の実施が期待できる。

実施状況

自然災害(風水害について)

【災害応急対策計画】(備前項目)

第31節 水防活動計画

【基本的な考え方】
風水害時は、河川の増水、斜面崩壊等のため、水防活動や土砂災害等の防止対策を行う事象が予想される。また、地震災害時は、災害状況によっては、護岸の破壊や斜面崩壊等により、水防活動や土砂災害等の防止対策を行う事象が予想される。
このため、村は、水防団（消防団）等を出動させ、県をはじめ必要に応じて地域内外の協力・応援を得て警戒活動を強化し、水防・土砂災害防止対策を実施し、被害の軽減を図る。

第1 水防本部の機構

水防法第10条の規定により、気象情報の通知を受けたときから洪水に対する危険が解消するまで、次の機構により事務を処理する。

東吉野村 水防本部

本部長 村長

副本部長 団長 副団長

副団長 役場

第3分団 詰所

第4分団 詰所

第5分団 詰所

第6分団 中島公民館 小栗橋交流センター

第7分団 詰所

第8分団 伊豆尾公民館

第9分団 詰所

第10分団 詰所

第11分団 詰所

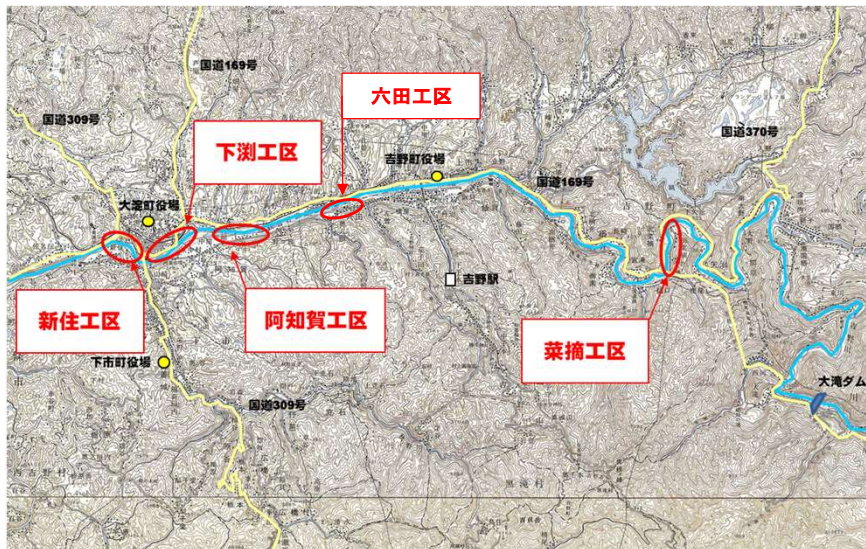
3-141

説明資料

○整備計画に基づく河川改修の実施

【令和4年度：奈良県】

計画堤防断面に対して高さや幅が不足している区間では、洪水により氾濫する恐れがある。洪水を河川内で安全に流す対策として、学識経験者や地方公共団体の長や住民の方々等の意見を踏まえて策定した「紀の川水系河川整備計画」に基づく堤防整備等の実施に向けた設計、用地買収、工事等を進めているところ。



現況写真（工事中）



現況写真（工事前）



感想等

今後も河川整備計画に基づいた、河川改修を着実に実施し、紀の川の治水安全度の向上に努めていく。

○紀の川水系河川整備計画の推進に向け、紀の川上流区間の河川管理者である奈良県と連絡調整会議を開催 【令和4年度：和歌山河川国道事務所】

和歌山河川国道事務所では、紀の川水系河川整備計画に基づき、築堤や河道掘削、狭窄部対策といった河道整備を推進しています。

和歌山県域では、岩出・藤崎・小田の3つ狭窄部のうち、岩出狭窄部対策が令和2年度に完了しました。令和3年度からは藤崎狭窄部対策に着手しており、着実に治水安全度の向上をはかっているところです。

奈良県域では、紀の川全体の河川整備の進捗等を共有することを目的として、上流区間の河川管理者である奈良県、大滝ダムの管理者である紀の川ダム統合管理事務所の3者で事業連絡調整会議を開催し、各課題に関して意見交換を行っています。

なお、奈良県域の事業としては野原西地区及び二見地区において堤防整備を推進しており、野原西地区の築堤の進捗に伴い、今後整備が必要である紀の川と大和丹生川（奈良県管理）の合流点の形状等について、奈良県と適宜設計協議を実施しています。

紀の川河川改修事業連絡調整会議内容

開催日：令和4年7月28日

参加機関：

奈良県河川整備課
近畿地方整備局 紀の川ダム統合管理事務所
近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所

会議内容：

紀の川における奈良県及び国の整備スケジュールの共有、各機関の事業内容の共有、大滝ダムの運用等に関する意見交換等



小学生を対象とした防災教育

課題対応 H

○大滝ダムでは、新型コロナウイルス感染防止対策をしながら、併設する大滝ダム・学べる防災ステーションを活用した防災教育を実施。参加した児童による「ダム見学新聞」コンクールも開催。【令和4年度：近畿地整】

【紀の川ダム統合管理事務所】

大滝ダム及び併設する学習施設には、奈良県教育部局等の協力のもと、奈良県内の小学生を中心に多くの見学者を迎え、令和4年度までの来場者は累計約80万人に上ります。

大滝ダム・学べる防災ステーションでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を十分に行い、安心して設置された映像やジオラマ等により、人間の知恵がどのように「水」を治め、「水」を活用してきたかを「ダム見て、防災の話を聞いて」学習することができます。また、小学生が大滝ダムで学んだことをまとめた新聞を応募する「ダム見学新聞」コンクールを毎年開催しています。応募作品から選定された優秀作品について、3月12日に表彰式を実施する予定です。

実施概要 (R4.12.20 現在)

平成8～令和4年度の累計
見学者累計 約80万人
見学新聞コンクール応募累計 453校26,842人

令和4年度の小学生団体総数
見学者数 136団体8,693名
内、小学校の校外学習校 51校3,942名
内、見学新聞コンクール応募数 28校1,793名

感想等

- ・ダムだけでなく防災のこともよく勉強できたので、お父さんやお母さんにも教えたいと思いました。
- ・ダムの役割がこんなにいっぱいあるとは思わなかったなので、驚きました。
- ・奈良県は津波がないから大丈夫と思っていたけど、洪水の恐ろしさがよくわかりました。

実施状況 (新型コロナウイルス対応状況)



防災ステーションにて開会挨拶



班ごとにダム堤体で



ダム天端を移動しながら



時差出発のため後発組にクイズ

河川法に基づく通知・通報に加えて、流域内関係者への直接的な情報提供を実施

【令和4年度：近畿農政局南近畿土地改良調査管理事務所】

ダム管理者としての減災・被害の最小化への取組として、流域内関係者が必要とする情報共有の連携強化のため、洪水放流・**事前放流**の際に、放流開始時間・最大放流量等について関係機関への直接的な情報提供を行うことで、避難等の防災行動に繋がる取組を実施。

実施概要

●対象機関

流域内市町危機管理担当部署、警察署・消防署、水道事業者、漁業協同組合、関係土地改良区等

(河川法・ダム操作規程に基づかない機関が対象)

●実施内容

放流開始時間、最大放流量の情報提供

感想等

関係機関との情報連携強化を図ることで、よりスムーズな水防活動の実施、地域防災力の向上が期待できる。

実施状況

令和 年 月 日

送信先 各関係機関 殿
(ダム操作規程に基づかない機関)

大迫ダム放流開始の連絡(この連絡は河川法48条による通知ではありません。平成15年6月30日大迫・津風呂ダム放流連絡会連絡者会での決定事項により情報提供するものです。)

こちらは、農林水産省南近畿土地改良調査管理事務所です。

大迫ダムは、常時満水位を越える恐れがあり、月 日 時 分 ごろから

洪水吐からの放流を開始します。最大放流量は、400m³/S程度になる見込みです。

本連絡を受信したら、下の枠内に受信時刻・受信機関名・受信者名を記入して下記までFAXにて送信願います。

受信時刻	月 日 時 分	受信機関名		受信者名	
------	---------	-------	--	------	--

送信者：農林水産省南近畿土地改良調査管理事務所 管理課
TEL：0747-52-2791

FAX：0747-52-2794

情報提供様式

国土交通省『川の防災情報』に対してデータ提供を実施。

【令和4年度：近畿農政局南近畿土地改良調査管理事務所】

ダム管理者としての減災・被害の最小化への取組として、住民の方々にダムの全流入量、全放流量等を周知することを通じて、的確な避難行動に役立てていただけるよう、国土交通省『川の防災情報』に対してデータ提供を実施。

実施概要

貯水位 (m)、貯水量 (千 m^3)、全流入量 (m^3/s)、全放流量 (m^3/s) 等のデータ提供

感想等

リアルタイムのダムの全流入量、全放流量等を住民の方々に知っていただくことで、的確な避難行動につながる事が期待される。

実施状況



奈良地方気象台の取組状況 (水災害教育等の実施)

取組機関名	奈良地方気象台
具体的取組	防災教育や防災知識の普及に関する事項
主な内容	奈良新聞の解説原稿協力による啓発活動の実施

○日時・参加機関

- ・ 場所：奈良新聞紙面
- ・ 概要 県内地方紙の奈良新聞社が小学校に配布している「小学生新聞」に水災害をはじめとした気象災害に係る解説原稿を提供して啓発活動を実施。また、デジタル版の「生活情報」に台風シーズンに備えた風水害・土砂災害についての啓発・解説記事掲載の協力を行った。

○紙面の様子



小学生新聞紙面



奈良新聞デジタル

○今後の取組

- ・ 報道関係機関との取組は流域住民に対して、広く効率的に知識の共有や広報できる最も有効な手段であるため、機会を逃さず協力をお願いしていきたい。

奈良地方気象台の取組状況 (水災害教育等の実施)

取組機関名	奈良地方気象台
具体的取組	防災教育や防災知識の普及に関する事項
主な内容	SNSを使ったお天気フェアの開催

○日時・参加機関

- ・ 場所：奈良地方気象台のホームページ
- ・ 概要：令和3年11月から、奈良地方気象台発信のYouTube動画を作成し公開している。新型コロナウイルス感染拡大防止の取組で、人と接する行事は中止になる中、毎年行っていた「夏休みお天気フェア」について、今年は共催各機関の協力のもと、Web上での開催を行い、広く防災知識の普及が行った。
- ・ 参加機関：奈良県、日本気象予報士会関西支部、奈良県防災士会

○公開中の動画

The image shows a YouTube channel page for '2022夏休みお天気フェア!!'. The main video is titled '2022年 夏休みお天気フェア コンテンツ紹介' (2022 Summer Vacation Weather Fair Content Introduction). The video description lists the following content:

- ①奈良県、②日本気象予報士会関西支部、③奈良県防災士会、④奈良地方気象台

The video duration is 8月1日～8月31日. Below the video, there is a list of related videos, including:

- 「子ども版」土砂災害から身を守る (子ども版) 土砂災害から身を守る (番号順にみていくと分かりやすいよ！) ①「最近の土砂災害」
- ②「土砂災害について」
- ③「土砂災害から身を守るためには」
- ④「土砂災害から身を守るためには」
- ⑤「土砂災害から身を守るためには」
- ⑥「土砂災害から身を守るためには」
- ⑦「土砂災害から身を守るためには」
- ⑧「土砂災害から身を守るためには」
- ⑨「土砂災害から身を守るためには」
- ⑩「土砂災害から身を守るためには」
- ⑪「土砂災害から身を守るためには」
- ⑫「土砂災害から身を守るためには」
- ⑬「土砂災害から身を守るためには」
- ⑭「土砂災害から身を守るためには」
- ⑮「土砂災害から身を守るためには」
- ⑯「土砂災害から身を守るためには」
- ⑰「土砂災害から身を守るためには」
- ⑱「土砂災害から身を守るためには」
- ⑲「土砂災害から身を守るためには」
- ⑳「土砂災害から身を守るためには」
- ㉑「土砂災害から身を守るためには」
- ㉒「土砂災害から身を守るためには」
- ㉓「土砂災害から身を守るためには」
- ㉔「土砂災害から身を守るためには」
- ㉕「土砂災害から身を守るためには」
- ㉖「土砂災害から身を守るためには」
- ㉗「土砂災害から身を守るためには」
- ㉘「土砂災害から身を守るためには」
- ㉙「土砂災害から身を守るためには」
- ㉚「土砂災害から身を守るためには」
- ㉛「土砂災害から身を守るためには」
- ㉜「土砂災害から身を守るためには」
- ㉝「土砂災害から身を守るためには」
- ㉞「土砂災害から身を守るためには」
- ㉟「土砂災害から身を守るためには」
- ㊱「土砂災害から身を守るためには」
- ㊲「土砂災害から身を守るためには」
- ㊳「土砂災害から身を守るためには」
- ㊴「土砂災害から身を守るためには」
- ㊵「土砂災害から身を守るためには」
- ㊶「土砂災害から身を守るためには」
- ㊷「土砂災害から身を守るためには」
- ㊸「土砂災害から身を守るためには」
- ㊹「土砂災害から身を守るためには」
- ㊺「土砂災害から身を守るためには」
- ㊻「土砂災害から身を守るためには」
- ㊼「土砂災害から身を守るためには」
- ㊽「土砂災害から身を守るためには」
- ㊾「土砂災害から身を守るためには」
- ㊿「土砂災害から身を守るためには」

Below the main video, there is a thumbnail for 'バーチャル気象台 (測風塔編)' (Virtual Weather Station (Meifu Tower Edition)). The thumbnail shows a large, colorful character (a sun-like figure) standing in front of a building. The text on the thumbnail reads 'バーチャル気象台 (測風塔編)' and '案内役：おじさん 学習者：はれるん'.

○今後の予定

- 初めのWeb上での開催にもかかわらず、300を超えるアクセス数があった。
- 今後もWebコンテンツを活用し、いつでもどこからでも学べる知識の普及に取り組んでいきたい。

奈良地方気象台の取組状況 (気象情報の改善の実施)

取組機関名	奈良地方気象台
具体的取組	防災教育や防災知識の普及に関する事項
主な内容	キキクル(危険度分布)の危険度表示と警戒レベル表示の統一

○日時・参加機関

- ・ 場所：気象庁のホームページ
- ・ 概要：令和4年6月30日から、気象庁ホームページで表示しているキキクルの危険を表す色配置の「黒」の新設と「うす紫」「濃い紫」を統合し、警戒レベル5相当(黒)、警戒レベル4相当(紫)と、それぞれ警戒レベルと一致させ、取るべき行動が分かるように改善した。

○改善の内容

キキクル「黒」の新設と「うす紫」と「濃い紫」の統合

令和4年
6月30日～

国土交通省

警戒レベル4に相当するキキクル(危険度分布)は紫です



- 疑問1) キキクル「黒」が表示されている場合は災害は発生しないの？
→そうではありません。「黒」は大雨による災害がすでに発生している可能性が高い状況であり、災害が発生する前にいつか出現する恐れがあります。このため、「黒」が表示になると、「紫」が出現した段階で、速やかに安全な場所に避難することが極めて重要です。
- 疑問2) 市町村から発令される避難指示とどう違うの？
→市町村から避難指示が発令された際には速やかに避難行動をとってください。一方で、多くの場合、防災気象情報は自治体が発令する避難指示等よりも先に発表されます。このため、危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル4に相当する紫や黄赤等々の避難が必要とされる警戒レベル3に相当する赤色が出現した際には、避難指示等が発令されていなくても、自主的に避難の判断をすることが重要です。

開催した公開コンテンツ

○今後の予定

気象情報は水系住民の避難開始の判断に重要な役割を果たすものと考え、今後も分かりやすく、伝わる情報への改善に努めていく。